

# 公開講座事後研修会

～現代における仏教の可能性～

**開催日時** 2019年7月29日(月) 13:30～17:00 (13:00 受付)

**会場** 京都東本願寺飛地境内 渉成園

## 開催趣旨

5月21日に開催された公開講座「お寺って何するの?～葬儀から考える～」(社会教化小委員会主催)では、講師の小谷みどり氏から「この時代社会においてお寺がやれることはたくさんあります。僧侶は本当に求められていることに向き合っているのか。声が聞こえていますか?」と問いが投げかけられました。

公開講座を受けて「ある程度は一生懸命考えて、頑張ってきたはずだ」と思いながらも、どこかで不十分さを感じざるを得ない場面が思い起こされた方は少なくないのではないのでしょうか。

親鸞聖人は当時の「仏教」に対して、「浄土の真宗」という言葉で仏教を表現しておられます。現代において「私」が「仏教(あるいは真宗)」としていることと、親鸞聖人が「浄土の真宗」と表現してくださったこととの乖離はないのでしょうか。その乖離と、「私」の不十分さは関係があるのではないのでしょうか。

今回は高橋卓志氏を講師に、小谷みどり氏をアドバイザーにお迎えし、公開講座事後研修会を企画しました。日本と世界の様々な苦悩の現場にその身を運び、その中で歩み続けておられる両氏からの言葉を手がかりに、私たち僧侶が現場で手探りの歩みが始まることを願って開催させていただきます。

### 高橋卓志(たかはしたくし)氏

神宮寺住職(期限は2020年まで)／龍谷大学文学部大学院・客員教授(実践真宗学)／NPO法人・Mi-Sha 理事／NPO法人・ライフデザインセンター理事／NPO法人・NPO 夢バンク理事／タイ国・チェンマイ市在住(PAYAP 大学生)

### 小谷みどり氏

シニア生活文化研究所所長。2018年未まで第一生命経済研究所に25年余り勤務。博士(人間科学)。専門は生活設計論、死生学、葬送問題。奈良女子大学、立教セカンドステージ大学で講師をするほか、身延山大学、武蔵野大学の客員教授も務める。

**日 程** 13:00 受付(渉成園入口) 13:30 開会 13:45 お話(高橋卓志氏)  
14:45 休憩 15:00 全体座談(進行:小谷みどり氏) 16:15 休憩  
16:30 お話(高橋卓志氏) 17:00 閉会 18:30 懇親会(希望者のみ)

**参加費** 10,000円(講師礼・講師講交通費・会場費として)

**申 込** 6月28日(金)までに教務所(藤宗)まで申し込みください。

**備 考** 現地集合・現地解散です。閉会后懇親会を予定。(希望者のみ)

【富山駅 9:12 発→京都駅 12:09 着/京都駅 21:21 発→富山駅 23:59 着】